

東日本大震災、インターネットの時代にラジオが注目されたその訳は・・・

グーグルやツイッターだけではなかった!

平成24年
6月20日
刊行

ラジオは君を救ったか？

～大震災とコミュニティFM～

米村秀司 著 四六判・並製・288ページ・定価(1800円+税)

- ラジオは災害時に最も役立つメディアだった。(2011年8月民放連調査)
- パーソナリティの声と音楽が、被災者の心を支え続けた。
- 地方コミュニティFM局が、被災地支援に大活躍。

～東日本大震災で注目を浴びたコミュニティFM局の現状と経営の課題を探る～

テレビ放送が始まって以来、ラジオは低迷の一途を辿りました。

2011年3月11日、東日本大震災による大規模な停電で被災地ではラジオが蘇ります。ラジオを通じて安心を届けるパーソナリティ。避難所で安否情報、生活関連情報、それに元気が出る音楽を必死に聞く被災者たち。ラジオは被災者に生きる勇気を与えました。全国で250を超えるコミュニティFM局は、厳しい経営を続けながら「防災ラジオ」として地域貢献を果たしています。本書では、そんなコミュニティFMの現状と経営の課題を探ります。

著者 米村秀司

1971年、KTS 鹿児島テレビ放送入社。報道部長、編成業務局長、企画開発局長などを経て現在、鹿児島シティエフエム(株)専務取締役。主な著書：「スペインと日本」行路社(共著)2003年3月、「消えた学院」ラゲーナ出版2011年7月など。



コミュニティFM局一覧付き
(J C B A加盟局)

本のご注文はこちら

●ご購入方法

- ①ご注文：以下にご注文者情報、ご希望数をご記入の上FAXするか、お電話でご注文下さい。
- ②発送：クロネコメール便にて発送致します。
- ③お支払：ご注文確定後、当社からお支払方法をご案内致します。

お名前、名称		ご希望数 冊
ご住所	〒	
電話番号		
連絡事項等		

1冊1,890円(税込)
となります。

ご注文

24時間受付

FAX 099-214-3567

土・日・祝日除く9:00～18:00

TEL 099-214-3777

鹿児島シティエフエム株式会社

〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田1丁目20-4
<http://www.friendsfm.co.jp>

お問合せ (TEL) 099-214-3777 (FAX) 099-214-3567

(MAIL) fm762@friendsfm.co.jp